

授業科目名	【G】フレッシュマン・セミナーⅡ	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2		
		必修						
科目区分	基本科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単独	【G】						
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	海外のコマーシャルから学ぶ			担当者	大倉 直子			
授業概要	【概要】	言語と文化が異なれば、表現のしかたも自ずと異なってくる。海外メディアの映像に隠されたメッセージを正確に見抜くのは意外に難しい。このクラスでは、カンヌ国際広告祭で賞を受賞したコマーシャルと関連する記事を教材として、メディアが伝える真の意味をつかんだ上で議論し、発表を行う。教材とする海外コマーシャルの音声は英語だが、解りやすいように日本語の資料を配布する。						
	【到達目標】	(1) 海外のコマーシャルを見て自分の興味のあるテーマについて調べ、論理的で説得力のある発表ができるようになる。 (2) 海外のコマーシャルを通して英語の音声や文章に触れ、英語に親しむ。						
履修条件	履修には教科書の購入が必要です。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【○】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	2年次生で教養演習(英語)やオンライン留学(海外短期語学研修)への参加につなげていくことが目指される。							
教科書	『English in 30 SecondsTVコマーシャルで学ぶ異文化の世界』編・著:青木雅幸 出版社:南雲堂 ISBN: 978-4523176183 ・フレッシュマン・セミナーⅠの教科書も引き続き使用する。							
参考書	適宜、資料を配布する。							
評価方法	授業への取組み・プレゼンテーション:60%、課題・小テスト:40%							
フィードバック方法	提出物返却の際に、コメントと模範解答を提示する。							
評価基準	「評価方法」における得点が90点以上で授業内容に深い理解がみられる者を「S」、80点以上で十分な理解がみられる者を「A」、70点以上で基本的な理解はできている者を「B」、60点以上で理解の一部に不十分な点がある者を「C」とし、60点未満で理解に誤りが多い者は程度に応じて「D」または「E」とする。なお、プレゼンテーション不参加など、評価不能な場合には「F」とする。							

授 業 科目名	【G】 フレッシュマン・セミナーⅡ	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
		必 履 修				
授業内容	<p><第1回> ガイダンス:授業の進め方の説明に従って学習計画を立てる。</p> <p><第2回～第10回> 海外のコマーシャルの映像を見ながら、英語の音声と文章を理解する。 関連する日本語の記事を読み、ディスカッションを行う。テーマとして取り上げるのは、今まさに私たちが直面している様々な問題であり、「マイノリティが抱える問題」「技術革新が社会にもたらす変化」など、多岐にわたる。 同時に、フレッシュマン・セミナーⅠの学習内容を復習して、基礎を固める。 研究倫理やルールを遵守した文献の引用、調査・研究のしかた、議論の組み立て方、資料の示し方など、これからの大学での授業や社会に出てから必要なアカデミック・スキルを身につける。</p> <p><第11回～第15回> 各自で議論をまとめて、プレゼンテーションを行い、相互評価する。</p>					
予習内容	<p>授業での指示に従って、単語リストの作成や発話練習を行う。また、自分のテーマにそった調査や発表の準備を行う。 なお、各回の予習時間は90分を目安としてください。</p>					
復習内容	<p>課題や小テストにおいて指摘された点を見直す。 なお、各回の復習時間は90分を目安としてください。</p>					
その他	<p>発言等の積極的な授業参加が求められる。 ※Gカリ:【必履修(〇お)】</p>					